

“学校における働き方改革” 教育長メッセージ

～子どもたちの未来のために確実な一歩を踏み出そう！～

今、我々は、5年後、10年後の学校教育を左右する大きな岐路に立っております。沖縄県の未来を担う子供たちのために、質の高い豊かな学校教育を持続可能なものとしていくためには、これまで学校の当たり前とされてきた活動や教職員の献身的な使命感によって支えられてきた様々な活動を徹底的に見直し、学校教育を再構築していかなければなりません。

そのためには、全ての関係者が“学校における働き方改革”を自分ごととして受け止め、各々の役割と責任の下で決断し、行動することが求められております。

今年度、県教育委員会では“学校における働き方改革”の推進を重点事項として掲げ、全庁体制で取組をスタートさせました。

年度始めには、県内公立学校の全教職員を対象としたアンケートを実施し、改善等が求められる業務の洗い出しを行い、また、5月に臨時開催した市町村教育委員会教育長との連絡会議をはじめとして、各校長会やPTA等の関係者と意見交換等を行い、“学校における働き方改革”の必要性と取組の推進を訴えてまいりました。

今年度も上半期が過ぎ、後半に突入しましたが、県教育委員会ではアンケートによる業務の洗い出しをもとに設定した「私たちのピース・リスト 2023」と題した、“学校における働き方改革”の新たな取組目標を掲げ、多くの関係者と連携・協働しながら、その実現に向けて歩みを進めているところであります。

そのような中、各学校では、いよいよ来年度の教育活動計画等を策定する時期になってきております。策定にあたっては、これまで行ってきた学校行事や課外活動等であっても、それが膨れ上がるにより教職員がゆとりを失い、肉体的にも精神的にも疲弊するのであれば、結果的にそれは子どもたちのためにはならないという視点を持ち、これまでの教育活動を徹底的に見直し、教職員が勤務時間内にしっかりと子供たちと向き合い、教材研究ができるよう、実効性のある計画にすることが必要です。

各学校におかれては、校長のリーダーシップの下、チーム学校として知恵を出し合い、令和6年度に向けて“学校における働き方改革”を着実に推進して頂きますようお願いいたします。

そして、各学校が取組を進めていくためには、学校を支える教育委員会や保護者、地域の皆様方のご理解とご支援が必要です。

各教育委員会におかれては、地域の“学校における働き方改革”の旗振り役として、学校を支え、保護者の理解を得ながら地域全体で連携・協働できる体制の整備を進めて頂きますようお願いいたします。

さらに、働き方改革の推進と併せて、地域の子供たちを支える教職員の心身の健康を守るために、喫緊の課題となっている法令等で定められた労働安全衛生管理体制の整備についても、首長部局と連携し適切な対応をお願いいたします。

また、保護者におかれては、学校教育の大きな変革の流れの中で、学校の新たな取組等に対して、戸惑いや不安を感じることもあろうかと思いますが、未来を担う子供たちの健やかな成長のためには、適正な役割分担の下で、保護者及び地域の方々が力を合わせて、これまで以上に積極的に子供たちと関わり、学校と共に地域全体で教育活動を支えていただきますようよろしくお願いいたします。

県内でも“学校における働き方改革”の実現に向けて取組を加速させる様々な動きが出てきておりますが、この動きが県内全域に波及し、沖縄県全体で各地域の実情に応じた“学校における働き方改革”が実現されるよう、県教育委員会もその役割と責任の下で決断し、行動してまいります。

“学校が人を創り、人が地域を創り、地域が学校を創る”という循環の下で、5年後、10年後も、子供たちがいきいきと学校で学び合い、健やかに成長していくことができるよう、県民の皆様には、“学校における働き方改革”の取組に対し、ご理解を頂き、連携・協働して頂きますようよろしくお願いいたします。

令和5（2023）年11月6日

沖縄県教育委員会教育長 半嶺 満